

岡安証券 ～注目・外株銘柄～ (2021年4月)

【米国市場・20銘柄掲載】

(株価データ、株価指標は現地2021年3月30日現在)

<追加>

- P1【航空機】 ボーイング(BA)
- P2【配車サービス】 ウーバー・テクノロジー(UBER)
- P3【セキュリティ】 ゼットスケイラー(ZS)
- P4【自動車部品】 マグナ・インターナショナル(MGA)

<継続>

- P5【ハイテク主力】 アップル(AAPL)
- P6【ハイテク主力】 アルファベット(GOOG)
- P7【ハイテク主力】 ネットフリックス(NFLX)
- P8【クラウド】 アマゾン・ドット・コム(AMZN)
- P9【クラウド】 マイクロソフト(MSFT)
- P10【テレワーク】 ズーム・ビデオ・コミュニケーションズ(ZM)
- P11【半導体製造装置】 ASMLホールディング(ASML)
- P12【半導体】 台湾セミコンダクターADR(TSM)
- P13【半導体】 アドバンスド・マイクロ・デバイス(AMD)
- P14【半導体】 エヌビディア(NVDA)
- P15【フィンテック】 ペイパル・ホールディングス(PYPL)
- P16【フィンテック】 スクエア(SQ)
- P17【電気自動車】 ゼネラル・モーターズ(GM)
- P18【自動車部品】 アプティブ(APTV)
- P19【電気自動車】 ニーオADR(NIO)
- P20【公益】 ネクステラ・エナジー(NEE)

<追加>

- 航空機製造の世界大手
 - 配車/フードデリバリー・サービス大手
 - クラウド上のセキュリティサービスを提供
 - EVの受託製造も手掛ける自動車部品メーカー
- <継続>
- デジタルIT機器の設計・販売大手
 - インターネット検索世界最大手
 - 動画配信サービス最大手
 - インターネット小売世界最大手
 - ソフトウェア世界最大手
 - ビデオ会議システムを提供する急成長企業
 - 世界の半導体製造装置の大手
 - 世界最大の半導体製造受託企業
 - MPUやGPUを手掛ける半導体大手
 - 画像処理半導体(GPU)開発企業
 - ネット決済サービス大手
 - 決済サービスなどを手掛けるフィンテックベンチャー
 - 米自動車最大手
 - ソフトウェア投資注力の自動車部品メーカー
 - 中国の新興電気自動車メーカー
 - 環境配慮型の発電に特化する電力会社

航空機製造の世界最大手。民間旅客機の建て直しに期待

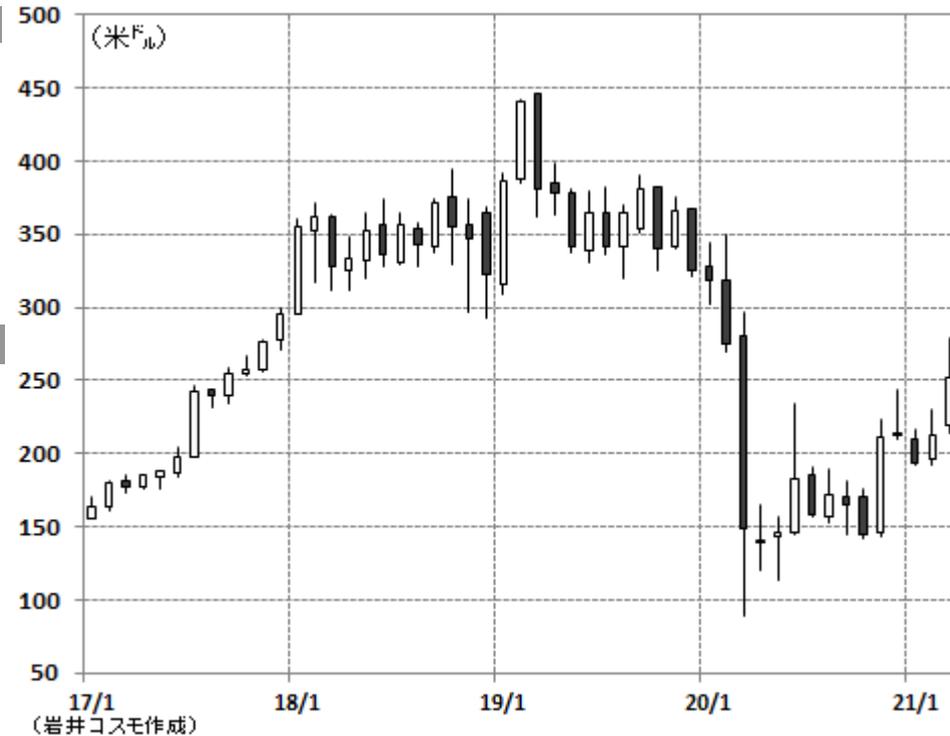
会社概要

世界最大の民間機及び軍用機メーカー。回転翼航空機、電子及び防衛システム、ミサイル、ロケットエンジン、衛星、衛星打ち上げ機等の幅広い製品を世界90カ国以上に提供。主力の民間航空機部門は小型機「737MAX」が2度の墜落事故を起こし、出荷・運航を停止していたが、米連邦航空局(FAA)の承認を経て、20年12月に運航を再開。NYダウ工業株平均採用銘柄。

注目ポイント

□「737MAX」の運航を再開: 小型機「737MAX」が2020年12月、1年9ヶ月ぶりに米国内で運航を再開。2度の墜落事故を受けて運航を停止していたが、アメリカン航空が国内線のマイアミ～ニューヨーク便に復帰させた。ユナイテッド航空やサウスウエスト航空は2021年前半の運航再開を予定している。

□サウスウエスト航空が「737MAX」を100機購入: 米格安航空会社サウスウエスト航空は3月29日、同社の主力小型機「737MAX」を100機購入することで合意したと発表。最初の出荷は2022年になる見通し。オプションとして29年までに155機追加購入する権利も取得した。



株価チャート (2017年以降・月足)

株価データ	
株価(米ドル)	252.01 (03/30)
52週高値(日付)	278.5 (21/03/15)
52週安値(日付)	113.9 (20/05/14)
時価総額	1,471億ドル 16兆2,321億円
株価変化率(%)	52.5 (過去6ヶ月間) 65.5 (過去1年間)

株価指標 (バリュエーション)	
実績PER	N/A (倍)
株価売上高比率	2.5 (倍)
PBR	— (倍)
税前提当利回り(%)	無配 (直近年率)
配当成長率(%)	-66.7 (過去1年間)
株主資本利益率(ROE)	— (%)
株式ベータ	2.11 (対S&P500)

通期業績								
決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2019/12	76,559	-24	-1,975	赤転	-636	赤転	-1.12	8.22
2020/12	58,158	-24	-12,767	赤継	-11,873	赤継	-20.88	0.00
四半期業績								
2019/Q4	17,911	—	-2,204	—	-1,010	—	-1.79	2.06
2020/Q4	15,304	-15	-8,049	赤継	-8,420	赤継	-14.65	0.00

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

配車/フードデリバリー・サービスを展開。配車サービスが復調へ

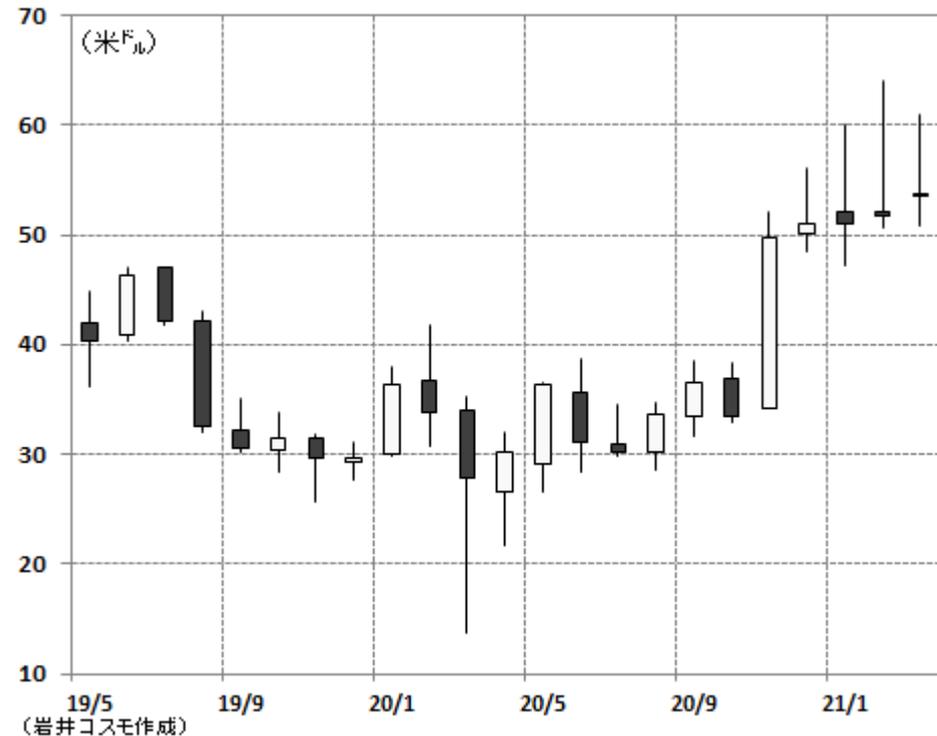
会社概要

米国最大のライドシェア企業。世界各地でライドシェア・サービスを展開し、「ウーバー・ブラック」や「ウーバー・X」など乗客数や車種に応じたライドシェアリングを提供する。また、飲食店などから料理配送を請け負う「ウーバー・イツ」事業も展開。米国のライドシェア事業での市場シェアは69%(2019年)と2位のリフトを大きく引き離して首位の座を固める。2019年5月にニューヨーク市場に上場、筆頭株主は日本のソフトバンクG。

注目ポイント

□ **経営資源を集約、早期黒字化目指す**：自動運転技術の開発子会社ATGを米新興のオロラ・イノベーションに売却し、自社開発から撤退する。ATG売却にあわせてオロラ株式を26%取得し、自動運転の実用化では連携する考え。経営資源を見直し、経費節減にも努め、コロナ収束後の中核の配車サービスを復活させ、今期中の調整後ベースの黒字化を目指す。

□ **英国で最低賃金を保障**：3月16日、英国内で同社のサービスを担う、約7万人の運転手を英国の雇用法に基づく「労働者」として扱うと発表。従来の慣行を見直し、運転手には最低賃金を保障するほか、休暇手当や年金への加入機会も提供する。



株価チャート (上場来・月足)

株価データ	
株価(米ドル)	53.46 (03/30)
52週高値(日付)	64 (21/02/11)
52週安値(日付)	21.675 (20/04/03)
時価総額	995億ドル 10兆9,791億円
株価変化率(%)	46.5 (過去6ヶ月間) 92.1 (過去1年間)

株価指標(バリュエーション)	
実績PER	— (倍)
株価売上高比率	7.8 (倍)
PBR	8.1 (倍)
税前提当利回り(%)	無配 (直近年率)
配当成長率(%)	— (過去1年間)
株主資本利益率(ROE)	-51.2 (%)
株式ベータ	1.48 (対S&P500)

通期業績								
決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2019/12	13,000	15	-8,596	赤継	-8,506	赤継	-6.81	0.00
2020/12	11,139	-14	-4,863	赤継	-6,768	赤継	-3.86	0.00
四半期業績								
2019/Q4	3,747	—	-971	—	-1,096	—	-0.64	0.00
2020/Q4	3,165	-16	-877	赤継	-968	赤継	-0.54	0.00

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

クラウド上のセキュリティサービスを提供。ウェブ上の入りを防御、在宅勤務にも対応

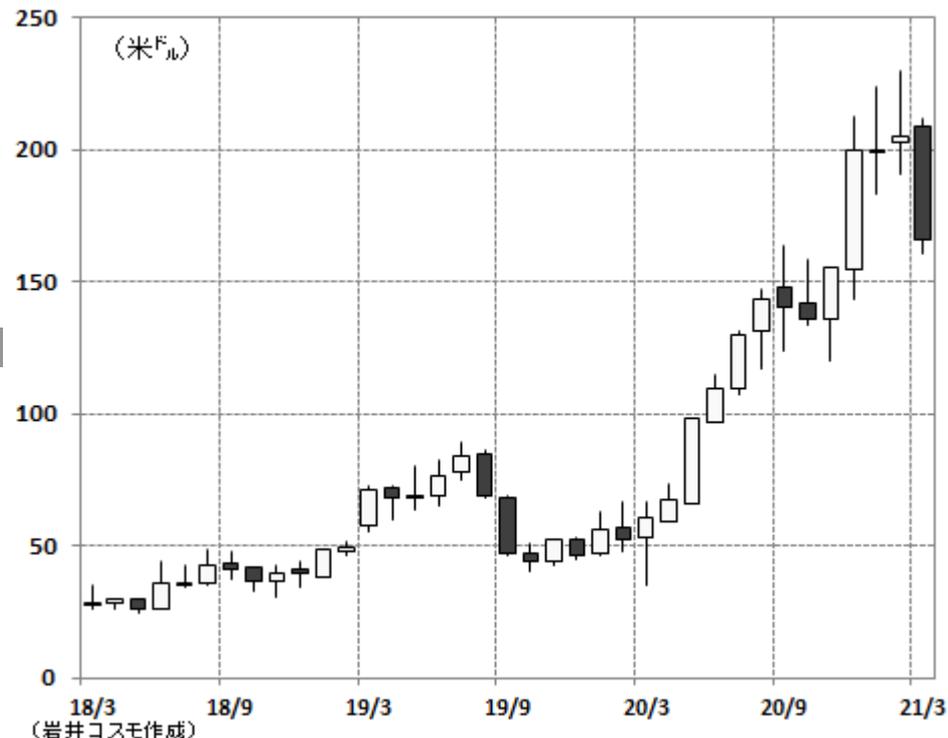
会社概要

2007年創業のセキュリティサービス企業。ウェブ上のサイトへの送受信データを同社のデータセンターに転送し、ウイルス/スパイウェア対策、URLフィルタリング、情報漏えい防止等の機能を提供。電子メールのセキュリティサービスも行う。モバイル端末から本支店の通常端末等に至るまで、同社のクラウド上のいわば「検問所」でチェックした上で使う仕組み。本社はカリフォルニア州サンゼ、社員数は2,020名(20年7月末時点)。

注目ポイント

□ **安価で包括的なサービス提供を目指す**：世界各地に同社の150ヶ所以上のデータセンターがあり、クラウド上の「検問所」の役割を果たす。同社データセンターとアマゾンやマイクロソフト等のクラウドサービスと連結。自社設置型の旧来方式よりサービス料金が格段に安いのも特長。会社幹部は『1IDで月額コヒー1杯分程度』を謳う。顧客数は20年7月末時点で約4,500団体と19年7月末の3,900団体から増加した。

□ **在宅勤務の需要を取り込む**：同社はクラウド環境で企業内アプリを安心して利用できるサービスやサイトのアクセス管理サービス等を提供し、在宅需要も取り込み、多くの顧客が複数のサービスを選択している。



株価チャート (上場来・月足)

株価データ	
株価(米ドル)	165.79 (03/30)
52週高値(日付)	229.95 (21/02/16)
52週安値(日付)	57.86 (20/03/30)
時価総額	225億ドル 2兆4,872億円
株価変化率(%)	17.8 (過去6ヶ月間) 181.8 (過去1年間)

株価指標(バリュエーション)	
実績PER	— (倍)
株価売上高比率	41.0 (倍)
PBR	44.8 (倍)
税前提当利回り(%)	無配 (直近年率)
配当成長率(%)	— (過去1年間)
株主資本利益率(ROE)	-46.6 (%)
株式ベータ	0.59 (対S&P500)

通期業績

決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当
2019/07	303	59	-35	赤継	-29	赤継	-0.23	0.00
2020/07	431	42	-114	赤継	-115	赤継	-0.89	0.00

四半期業績

決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当
2020/Q2	101	—	-30	—	-29	—	-0.23	0.00
2021/Q2	157	55	-54	赤継	-68	赤継	-0.50	0.00

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

マグナ・インターナショナル(MGA)

EVの受託製造も手掛ける自動車部品メーカー

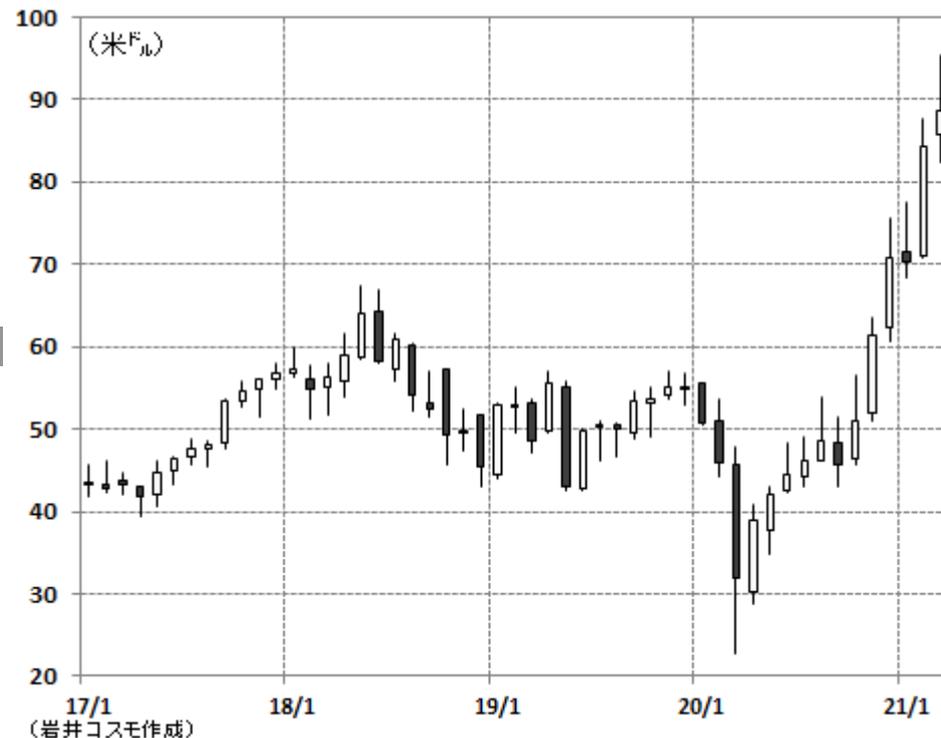
会社概要

カナダの自動車部品製造会社。自動車用のシステム、モジュールやコンポーネントの設計、開発、製造に従事。子会社を通じて車両の開発・受託生産も手掛け、自動車や商用車メーカーにOEM(相手先ブランドでの販売)供給する。ハイブリッドや電気自動車(EV)・システムの設計、開発、試験、製造なども手掛ける。本社はカナダのオンタリオ州・オロー、従業員数は約158,000人(20年末時点)。

注目ポイント

□ **自動車の受託生産に強み**：子会社のマグナ・シュタイヤは、トヨタやBMWなど10社、30モデルの自動車を生産。ソニーのコンセプトEV「ビジョンS」や米高級車スタートアップ、フィスカのSUVタイプのEVの生産も手掛ける。最近では、一部報道でアップルが参入を検討しているEVの提携先の候補としても、その名が取り沙汰されている。

□ **韓国LGと合併会社を設立**：同社は韓国LG電子とEV向け駆動部品で合併会社を設立すると発表。世界ではガソリン車からEVへのシフトが急速に加速しており、モーターやインバーターなど両社の強みを持ち寄り、自動車電動化に対応する。



株価データ	
株価(米ドル)	88.75 (03/30)
52週高値(日付)	95.35 (21/03/18)
52週安値(日付)	28.84 (20/04/03)
時価総額	267億ドル 2兆9,517億円
株価変化率(%)	94.0 (過去6ヶ月間) 178.6 (過去1年間)

株価指標(バリュエーション)	
実績PER	21.3 (倍)
株価売上高比率	0.8 (倍)
PBR	2.3 (倍)
税前配当利回り(%)	1.94 (直近年率)
配当成長率(%)	9.0 (過去1年間)
株主資本利益率(ROE)	6.8 (%)
株式ベータ	1.50 (対S&P500)

通期業績								
決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	税引前利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2019/12	39,431	-3	2,223	-25	1,765	-25	5.59	1.460
2020/12	32,647	-17	1,006	-55	757	-55	2.52	1.600
四半期業績								
2019/Q4	9,395	—	579	—	440	—	1.43	0.365
2020/Q4	10,568	12	973	68	738	68	2.45	0.400

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

社名 (ティッカー)

アップル(AAPL)

上場市場

ナスダック

セクター

IT機器

デジタルIT機器の設計・販売大手。収益の多様化が進む。5G対応iPhoneを投入予定

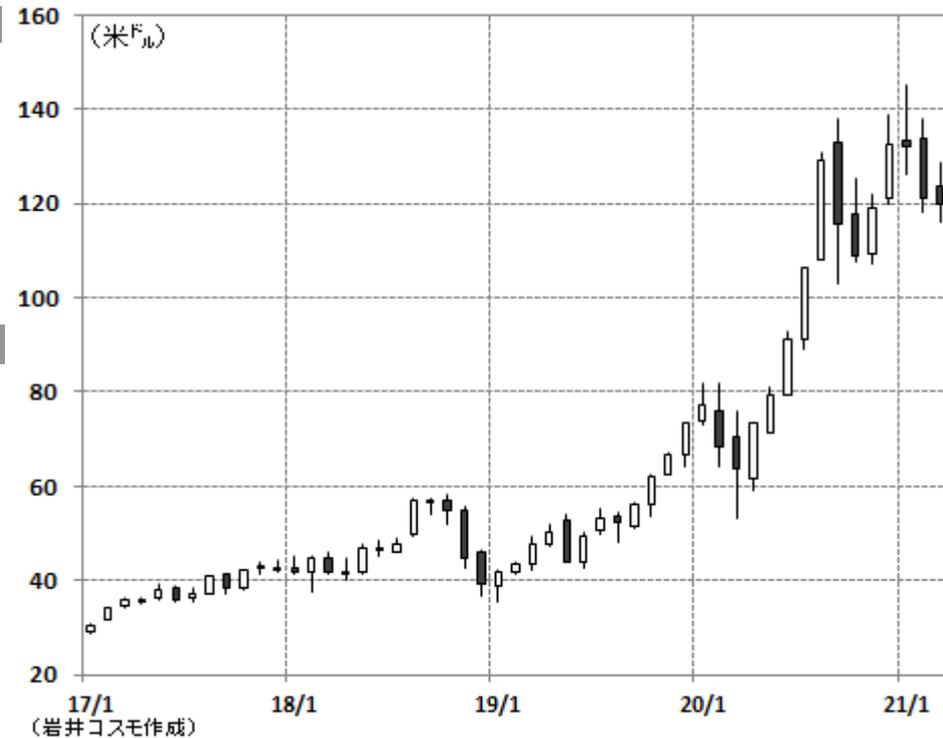
会社概要

スマートフォン(スマホ)「iPhone」や、タブレットPC「iPad」などデジタルIT機器を設計・販売。1977年に設立。スティーブ・ジョブズ氏が1997年に復帰し、次々と革新性のある製品投入、再興を果たす。2011年のジョブズ氏没後は現クックCEO体制へ、12年以降は大規模な株主還元策を開始。独自の基本ソフト開発やアプリ販売等で他社と一線を画す。15年3月、NYダウ工業株平均に採用された。

注目ポイント

□ **「iPhone12 mini」を減産**： 同社は小型スマートフォン「iPhone12 mini」の減産に踏み切る。21年前半の生産計画を引き下げると主要サプライヤーに伝えたこと各種メディアで報じられた。同機種は同社が20年秋に発売した4機種のうち最も画面が小さく、売上げが低迷していた。今後は「iPhone12 pro」等の需要が堅調な機種に注力する。

□ **電気自動車に参入か**： 同社が画期的な電池技術を搭載する乗用車を、2024年から市場投入する計画を持っていると一部メディアが伝えた。同社は自動運転技術を開発していることは広く知られているが、アップルブランドの乗用車自体を投入することになれば、既存の自動車産業に大きなインパクトを与えそうだ。



株価チャート (2017年以降・月足)

株価データ

株価(米ドル)	119.9 (03/30)
52週高値(日付)	145.08 (21/01/25)
52週安値(日付)	59.225 (20/04/02)
時価総額	2兆0,129億ドル 222兆1428億円
株価変化率(%)	3.5 (過去6ヶ月間) 88.2 (過去1年間)

株価指標(バリュエーション)

実績PER	32.5 (倍)
株価売上高比率	7.0 (倍)
PBR	30.5 (倍)
税前提当利回り(%)	0.68 (直近年率)
配当成長率(%)	6.5 (過去1年間)
株主資本利益率(ROE)	82.1 (%)
株式ベータ	1.02 (対S&P500)

通期業績

決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2019/09	260,174	-2	63,930	-10	55,256	-7	2.97	0.7500
2020/09	274,515	6	66,288	4	57,411	4	3.28	0.7950

四半期業績

決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2020/Q1	91,819	—	25,569	—	22,236	—	1.25	0.1925
2021/Q1	111,439	21	33,534	31	28,755	29	1.68	0.2050

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

インターネット検索サービス世界最大手。ネット広告の次の収益基盤を模索

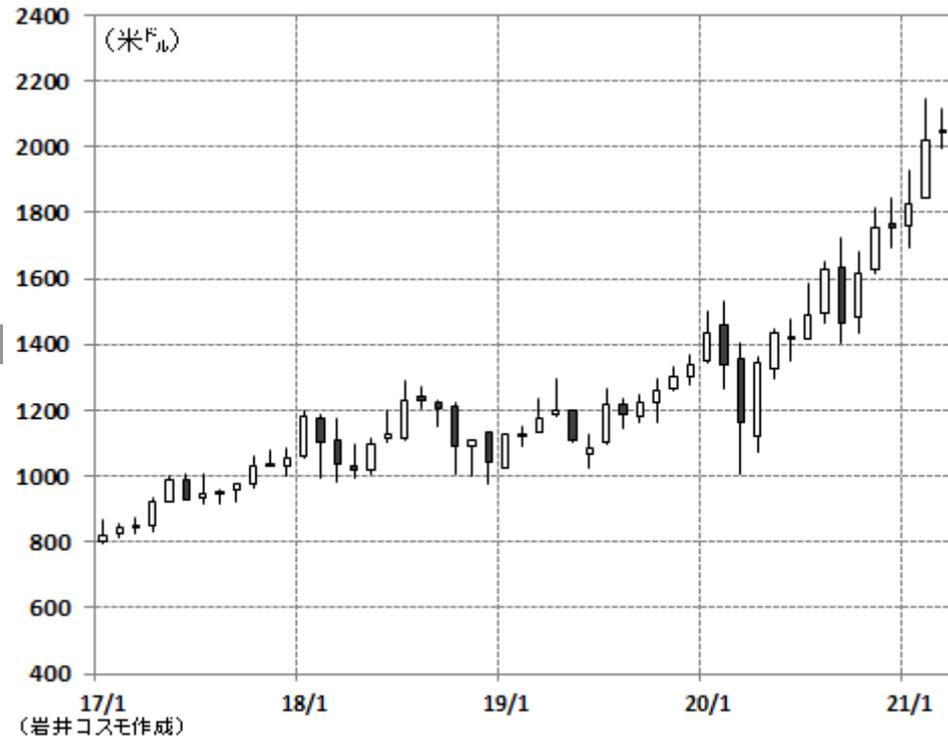
会社概要

ネット検索サービス世界最大手「グーグル」を傘下に置く持株会社。97年にサービス開始、04年8月上場。検索広告が主要収入源。革新力で定評があり、モバイル端末の無料基本ソフト「アンドロイド」は、同社の開発。また自動運転車などを社内で育成中。またアプリ・コンテンツ販売やクロームブック事業、クラウド型ビジネス向けソフトなどの事業展開も。本社はカリフォルニア州、従業員数は135,301人(20年12月末)。

注目ポイント

□**YouTube広告とクラウド事業が成長ドライバー**： 動画投稿のアプリの「YouTube」と、データを企業から受託管理するクラウド事業が現在の成長の柱であり20年以降、独立開示された。20年度通期のYouTube広告収入は前年同期比31%増の198億ドル、クラウド事業売上は同46%増の131億ドルとなり、両事業の売上高比率は全体の2割弱を占める。

□**フィットビット買収完了**： グーグルはフィットネス関連のウェアラブル機器を手掛けるフィットビットの買収を21年1月14日に各国規制当局の調査に直面していたが無事に完了した。グーグルはフィットビット買収により、ライバルとなるアップルウォッチの様なウェアラブル端末やヘルステータ関連事業に一段と本腰を入れることが可能となる。



株価チャート (2017年以降・月足)

株価データ	
株価(米ドル)	2046.47 (03/30)
52週高値(日付)	2145.06 (21/02/16)
52週安値(日付)	1075.08 (20/04/03)
時価総額	1兆3,828億ドル 152兆6035億円
株価変化率(%)	39.6 (過去6ヶ月間) 78.5 (過去1年間)

株価指標(バリュエーション)	
実績PER	41.5 (倍)
株価売上高比率	7.6 (倍)
PBR	6.2 (倍)
税前提当利回り(%)	無配 (直近年率)
配当成長率(%)	— (過去1年間)
株主資本利益率(ROE)	19.0 (%)
株式ベータ	0.91 (対S&P500)

通期業績								
決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2019/12	161,857	18	34,231	24	34,343	12	49.16	0.00
2020/12	182,527	13	41,224	20	40,269	17	58.61	0.00
四半期業績								
2019/Q4	46,075	—	9,266	—	10,671	—	15.35	0.00
2020/Q4	56,898	23	15,651	69	15,227	43	22.30	0.00

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

社名 (ティッカー)

ネットフリックス(NFLX)

上場市場

ナスダック

セクター

インターネットサービス

米国の動画配信サービス最大手。オリジナル・コンテンツの充実で世界の加入者獲得を推進

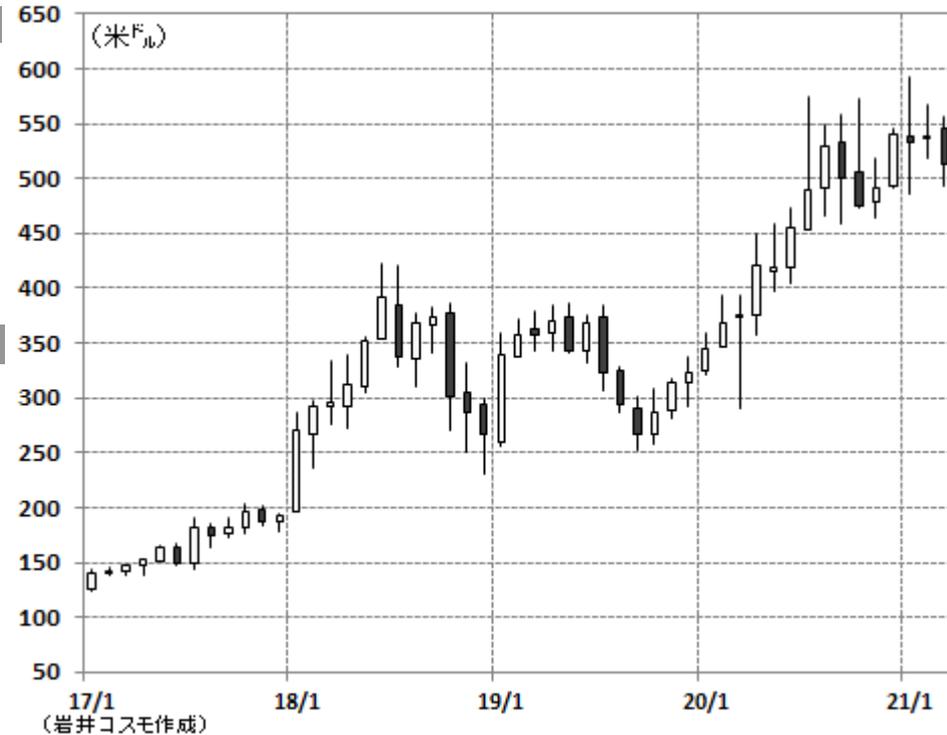
会社概要

1997年創立。オンラインDVDレンタルと映画やTV番組のネット配信(ストリーミング)を手掛ける。ネット宅配DVDレンタルから始めたが、現在は動画配信事業が主力。人気映画、テレビ番組を豊富に揃えるが、近年は自社制作番組を強化中。現在の展開地域は190カ国超、有料加入者数は北米が7,394万人、海外が1億2,972万人(20年末)、20年の世界有料会員当りの月次収入は前期比1%増の10.91ドル。

注目ポイント

□ **有料会員数が2億人を突破**：20年10-12月期の決算は、売上高が前年同期比22%増の66.4億ドルとなり過去最高を更新。20年末時点の有料会員数は2億366万人に達し、配信事業を始めておよそ13年で2億人を突破した。10-12月期の有料会員数の増加幅は851万人(市場予想606万人)と前四半期の220万人を大幅に上回り、成長鈍化懸念を払拭した。

□ **米国会費を21年1月に値上げ**：21年1月以降に米国で一部の視聴プランの月額料金を引き上げると20年10月に発表。高画質(HD)視聴版を13→14ドルに、超高画質(4K)視聴版を16→18ドルに引き上げる。米国では数年1回のペースで値上げを実現している。



株価チャート (2017年以降・月足)

株価データ

株価(米ドル)	513.39 (03/30)
52週高値(日付)	593.23 (21/01/20)
52週安値(日付)	357.51 (20/04/03)
時価総額	2,274億ドル 25兆0,934億円
株価変化率(%)	2.7 (過去6ヶ月間) 38.4 (過去1年間)

株価指標(バリュエーション)

実績PER	64.6 (倍)
株価売上高比率	9.1 (倍)
PBR	20.5 (倍)
税前配当利回り(%)	無配 (直近年率)
配当成長率(%)	— (過去1年間)
株主資本利益率(ROE)	29.6 (%)
株式ベータ	0.76 (対S&P500)

通期業績

決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2019/12	20,156	28	2,604	62	1,867	54	4.13	0.00
2020/12	24,996	24	4,585	76	2,761	48	6.08	0.00

四半期業績

2019/Q4	5,467	—	459	—	587	—	1.30	0.00
2020/Q4	6,644	22	954	108	542	-8	1.19	0.00

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

インターネット小売世界最大手。ネット通販とクラウド受託サービス事業双方が成長

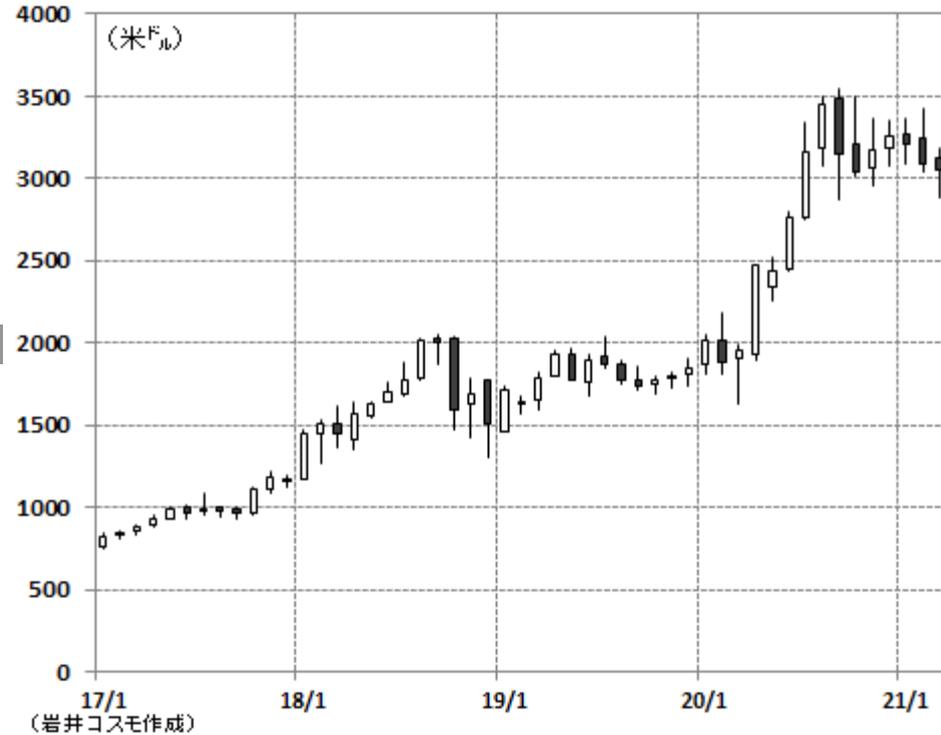
会社概要

インターネット小売世界最大手。ジェフ・ベゾス氏が設立、95年にサービス開始。書籍中心の取扱いから急速に品揃えを拡充。電子書籍端末「キンドルファイア」シリーズ等を投入、新市場開拓に意欲的。世界で個人有料会員は1.5億人を超え、動画や音楽の配信サービスを提供、法人向けのデータセンター利用サービスでも存在感が高い。近年はAI家電のスピーカー型のエコが世界中でヒット。本社はワシントン州シアトル。

注目ポイント

□ **遠隔医療サービスを一般企業向けに拡大**：3月17日に社内向けに提供していた自社の遠隔医療サービス「アマゾンケア」を、21年夏から全米の一般企業にも提供すると発表。このサービスはビデオ通話などで医師によるオンライン診療などを手軽に受けられることが特徴で、同社は福利厚生サービス事業の拡大に向けた取り組みを強化する。

□ **ベゾス氏が退任へ**：創業者兼、最高経営責任者 (CEO) のジェフ・ベゾス氏が7-9月期にCEO職を退任し、会長に就くと発表。後任のCEOにはクラウド事業を率いるアンディー・ジャシ氏が就任する。ベゾス氏は今後、創業した宇宙ベンチャーやワシントン・ポストへの関与を深める意向で、同社の重要経営事項には関与し続けるとみられる。



株価チャート (2017年以降・月足)

株価データ

株価(米ドル)	3055.29 (03/30)
52週高値(日付)	3550 (20/09/02)
52週安値(日付)	1889.25 (20/04/03)
時価総額	1兆5,385億ドル 169兆7929億円
株価変化率(%)	-3.0 (過去6ヶ月間) 55.6 (過去1年間)

株価指標 (バリュエーション)

実績PER	73.1 (倍)
株価売上高比率	4.0 (倍)
PBR	16.5 (倍)
税前提当利回り(%)	無配 (直近年率)
配当成長率(%)	— (過去1年間)
株主資本利益率(ROE)	27.4 (%)
株式ベータ	0.71 (対S&P500)

通期業績

決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2019/12	280,522	20	14,541	17	11,588	15	23.01	0.00
2020/12	386,064	38	22,899	57	21,331	84	41.83	0.00

四半期業績

決算期	売上高 (百万ドル)	前同四 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同四 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同四 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2019/Q4	87,437	—	3,879	—	3,268	—	6.47	0.00
2020/Q4	125,555	44	6,873	77	7,222	121	14.09	0.00

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

社名 (ティッカー)

マイクロソフト(MSFT)

ソフトウェア世界最大手。クラウド事業が好調

会社概要

ソフトウェア世界最大手。1975年創業。80～90年代にウィンドウズ(OS:基本ソフト)とオフィス(ワード、エクセル等)で急成長。ほかゲームやネット広告等も手掛け、企業から消費者向けまで幅広く事業を展開。2016年12月にビジネス向けSNSサイトの「リンクイン」を買収。2014年に就任したナデラCEOのもと、デバイス・サービス戦略から生産性やモバイル、クラウドを重視した経営に軸足を移している。

注目ポイント

□**クラウド事業の拡大が奏功**: 同社はクラウドインフラ市場(IaaS)で首位アマゾンウェブサービス(AWS)に次ぐ位置にあり、2強体制を構築。収益性の改善のため、製品からクラウドサービスに収益構造を移行中。特にワードやエクセル等クラウド版の「オフィス365」や、データ受託管理の「アジュール」、リンクインなどが好調。

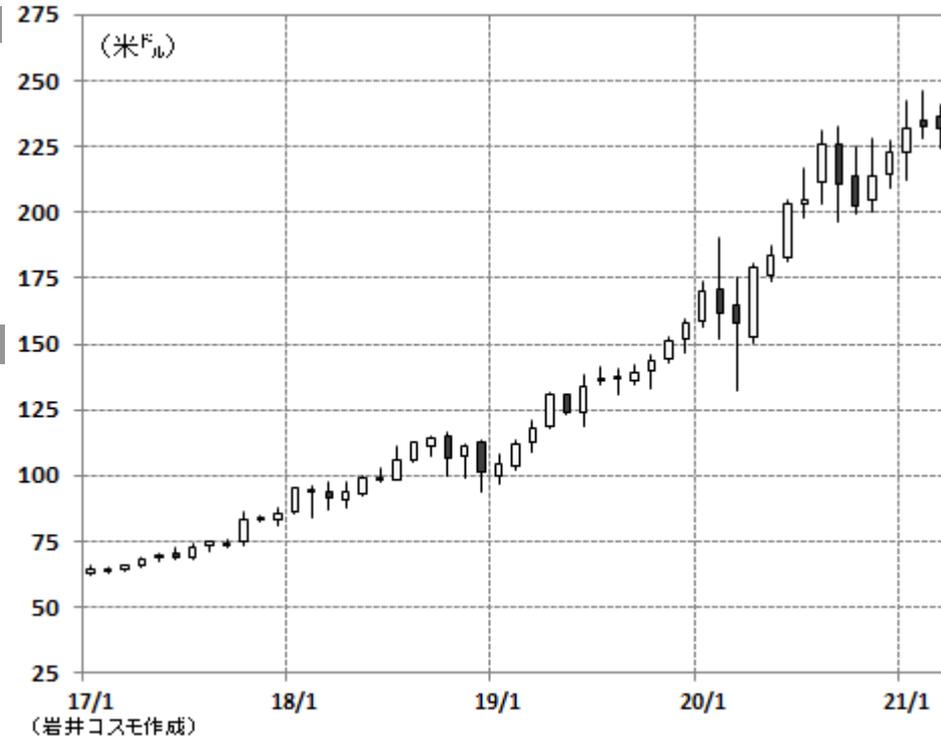
□**半導体を自社設計へ**: 同社がクラウドサービス向けのサーバーとパソコンの「サーフェス」に、自社で設計・開発したCPU(中央演算処理装置)を搭載する計画を進めていることが、一部メディアで報じられている。半導体設計大手アームの技術を利用し、実現すれば半導体大手インテルへの依存度を低下させる可能性がある。

上場市場

ナスダック

セクター

ソフトウェア



株価チャート (2017年以降・月足)

株価データ

株価(米ドル)	231.85 (03/30)
52週高値(日付)	246.09 (21/02/16)
52週安値(日付)	150.37 (20/04/02)
時価総額	1兆7,487億ドル 192兆9824億円
株価変化率(%)	10.2 (過去6ヶ月間) 44.7 (過去1年間)

株価指標(バリュエーション)

実績PER	34.4 (倍)
株価売上高比率	11.5 (倍)
PBR	13.4 (倍)
税前配当利回り(%)	0.96 (直近年率)
配当成長率(%)	10.3 (過去1年間)
株主資本利益率(ROE)	42.7 (%)
株式ベータ	0.89 (対S&P500)

通期業績

決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2019/06	125,843	14	42,959	23	39,240	137	5.06	1.84
2020/06	143,015	14	52,959	23	44,281	13	5.76	2.04

四半期業績

決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2020/Q2	36,906	—	13,891	—	11,649	—	1.51	0.51
2021/Q2	43,076	17	17,897	29	15,463	33	2.03	0.56

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

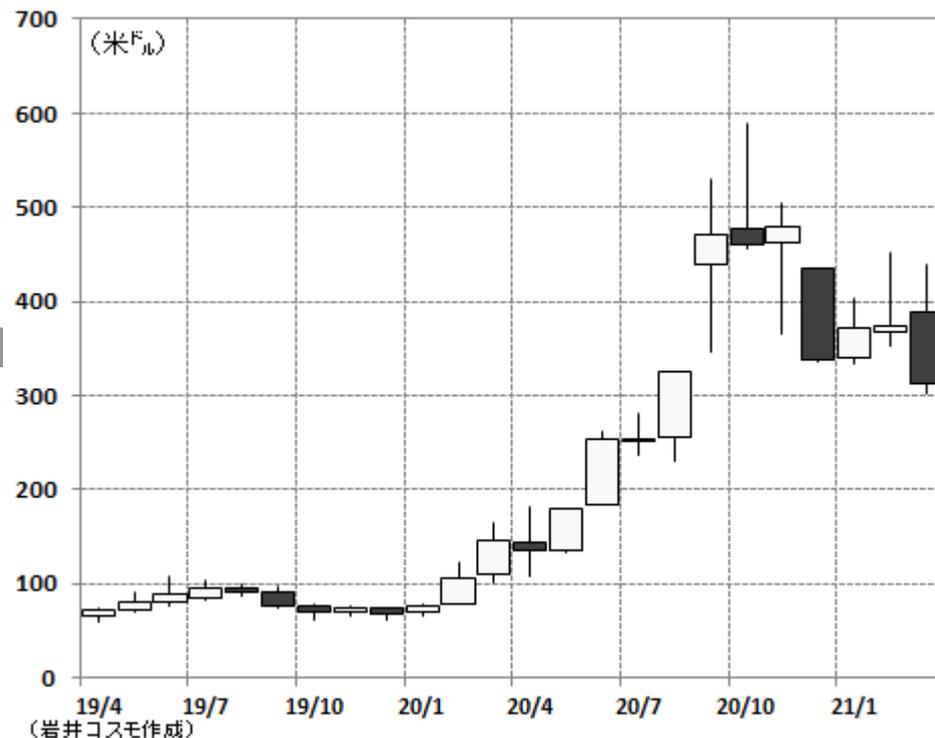
会社概要

「ズーム(ZOOM)」の製品名でビデオ会議システムのソフトウェアを開発・販売。シスコシステムズ出身のエリック・ヤンCEOが2011年に設立。特長として①ビデオ、音声が高品質で接続が安定、②100～200名の参加の会議でも可能、③有料版が安価の価格設定であること、などがある。本社はカリフォルニア州サンセ、従業員数は4,422人(21年1月末)。19年4月にナスダック上場、20年4月にナスダック100指数に採用。

注目ポイント

□ **コロナ禍で同社のオンライン会議システムが社会現象に**：「大人数の研修会や勉強会」から「ユーザーサポート」、「クライアントとのミーティング」まで用途が幅広い。コロナ禍においては働き方の多様化にも対応でき、在宅勤務で活用するケースが急増。準備・操作が簡単で、「学校のオンライン授業」や「オンライン飲み会」まで使用されるケースも目立ってきた。

□ **「ズーム」の技術を外販**：同社はビデオ会議システム「ズーム」の技術を外部に販売すると発表。アプリ開発者向けのソフトを配布し、通販サイトやゲームなどにビデオ通話機能を加えやすくする。「ビデオSDK」と呼ぶ開発支援ソフトの配布を既に始めており、技術インフラも提供する企業への脱皮を目指す。



株価チャート (上場来・月足)

株価データ

株価(米ドル)	313.19 (03/30)
52週高値(日付)	588.81 (20/10/19)
52週安値(日付)	108.55 (20/04/06)
時価総額	920億ドル 10兆1,518億円
株価変化率(%)	-33.4 (過去6ヶ月間) 107.6 (過去1年間)

株価指標(バリュエーション)

実績PER	137 (倍)
株価売上高比率	33.6 (倍)
PBR	23.8 (倍)
税前提当利回り(%)	無配 (直近年率)
配当成長率(%)	— (過去1年間)
株主資本利益率(ROE)	28.6 (%)
株式ベータ	0.47 (対S&P500)

通期業績

決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2020/01	623	88	13	黒転	22	黒転	0.09	0.00
2021/01	2,651	326	660	52倍	672	31倍	2.25	0.00

四半期業績

2020/Q4	188	—	11	—	15	—	0.05	0.00
2021/Q4	882	369	256	24倍	261	17倍	0.87	0.00

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

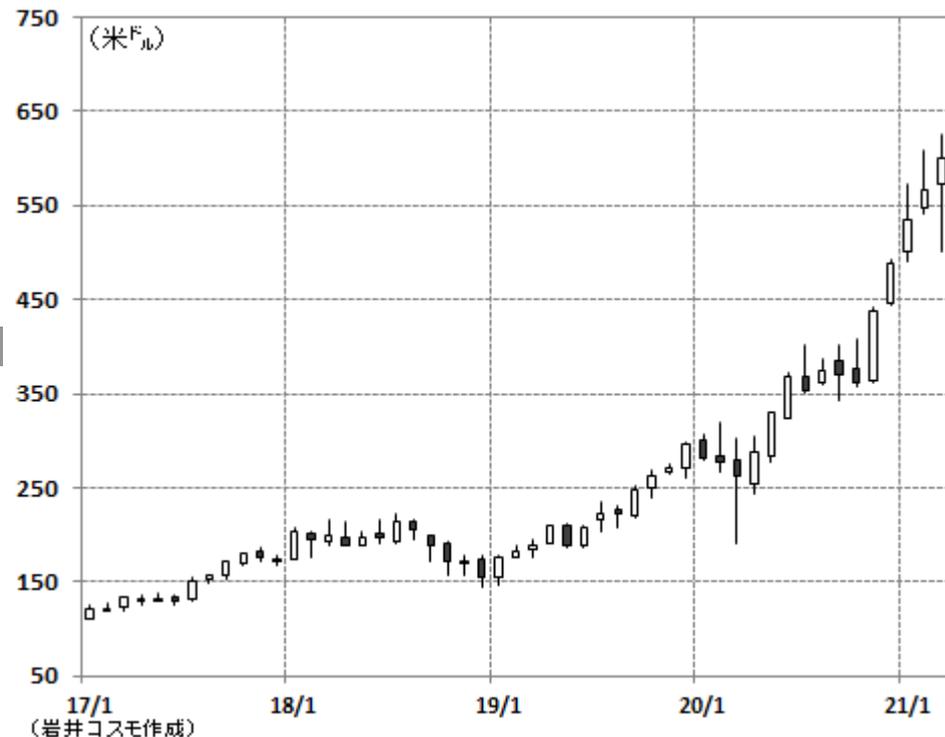
オランダの半導体製造装置世界大手。「EUV露光」の唯一のメーカー

会社概要

オランダの半導体製造装置メーカー。半導体製造工程の前工程の装置メーカーの2018年の売上規模で、首位の米アプライド・マテリアルズに次ぐ2位に位置する。半導体の回路をシリコンエハ上に焼き付ける露光装置のシェアの約8割を抑える。1984年オランダのフィリップス社と半導体商社ASMインターナショナルに折半出資された会社が起源。本社はオランダ・フェルトホーヘン、従業員数は28,073人(20年12月末)。

注目ポイント

- **EUV露光で世界をリード**: 世界で唯一単独供給する「EUV露光装置」は、光源に屈折率の大きな極端紫外線を用いて、より細かい電子回路を焼き付けることが可能であり、先端半導体の開発に大きく貢献。「EUV露光装置」は巨額な研究開発費もあり、1台1億ユーロ以上と高額だが、20年度は前年比5台増の31台を出荷した。
- **2021年通期の売上成長率は従来予想を上振れへ**: 同社は1月20日に発表した決算の中で、21年度通期の売上高成長率を従来予想した「1桁台前半の伸び」を上回る水準になると言及。21年通期のEUV露光装置の売上高成長率は30%とし、従来の20%から上方修正した。



株価チャート (2017年以降・月足)

株価データ	
株価(米ドル)	601.29 (03/30)
52週高値(日付)	626.59 (21/03/26)
52週安値(日付)	242.65 (20/04/02)
時価総額	2,522億ドル 27兆8,372億円
株価変化率(%)	62.8 (過去6ヶ月間) 124.3 (過去1年間)

株価指標(バリュエーション)	
実績PER	58.0 (倍)
株価売上高比率	15.3 (倍)
PBR	14.0 (倍)
税前配当利回り(%)	0.63 (直近年率)
配当成長率(%)	22.0 (過去1年間)
株主資本利益率(ROE)	25.3 (%)
株式ベータ	1.16 (対S&P500)

通期業績								
決算期	売上高 (百万ユーロ)	前同比 (%)	営業利益 (百万ユーロ)	前同比 (%)	当期利益 (百万ユーロ)	前同比 (%)	1株利益 (ユーロ)	配当 (ユーロ)
2019/12	11,820	8	2,791	-6	2,592	0	6.15	3.15
2020/12	13,979	18	4,052	45	3,554	37	8.48	2.55
四半期業績								
2019/Q4	4,036	—	1,277	—	1,134	—	2.69	1.05
2020/Q4	4,254	5	1,504	18	1,351	19	3.23	1.20

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

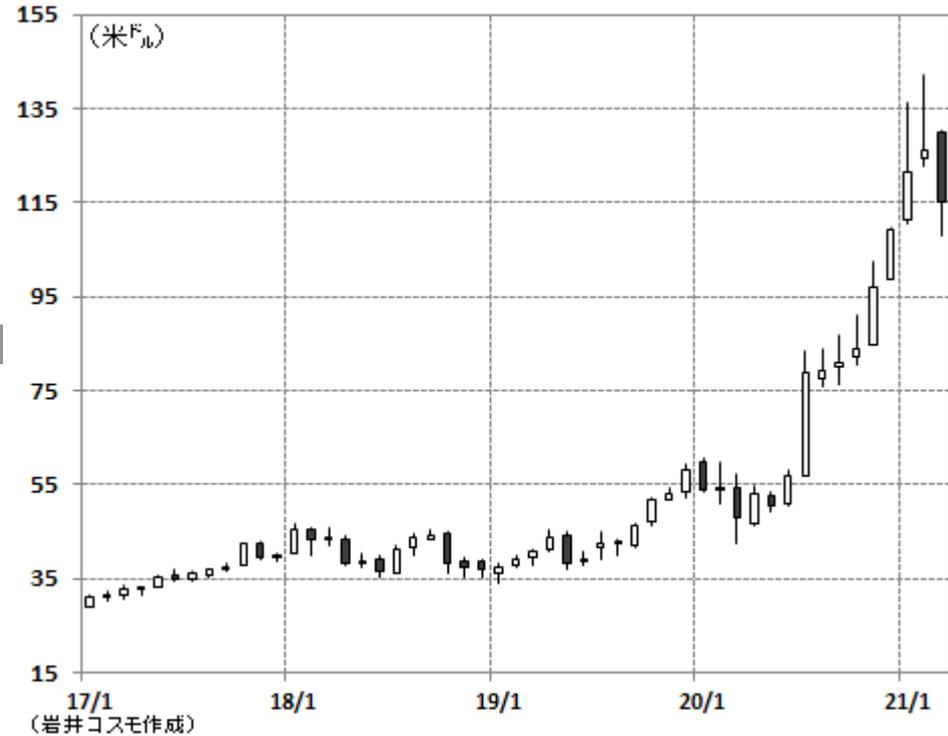
会社概要

顧客の製品製造を受託する、専門ファウンドリ・ビジネスの先駆企業。TSMCブランドでの設計、製造、販売を一切行なわないことで、顧客との競争を排除。世界最大の半導体製造ファウンドリとして、2019年には499の顧客企業を対象に、10,761個の製品を製造。同社が製造する半導体はコンピュータ、通信、産業向けと多岐に渡り、あらゆる場面で使用されている。

注目ポイント

□ **主要顧客は世界的企業**: 主要顧客には、アップル、クアルコム、ファウエイ、エヌビディア、アドバンスト・マイクロ・デバイス等、世界的大企業が名を連ねている。これらの企業はスマホ、サーバ等で使用される最高水準の半導体の製造を同社に委託している。中でも最大顧客のアップルは全売上高の20%程度を占めていると見られる。

□ **21年の設備投資を大幅増額し業界をリード**: 同社は2021年の設備投資計画を前年比45~62%増の250億~280億米ドルに設定すると発表。業界をリードする先端半導体への需要急増や世界的な供給不足に対応するため、20年の172億米ドルから大幅増額を決めた。



株価チャート (2017年以降・月足)

株価データ	
株価(米ドル)	115.07 (03/30)
52週高値(日付)	142.19 (21/02/16)
52週安値(日付)	46.3 (20/04/01)
時価総額	5,968億ドル 65兆8,586億円
株価変化率(%)	41.9 (過去6ヶ月間) 140.6 (過去1年間)

株価指標 (バリュエーション)	
実績PER	32.9 (倍)
株価売上高比率	12.7 (倍)
PBR	9.2 (倍)
税前配当利回り(%)	1.55 (直近年率)
配当成長率(%)	13.7 (過去1年間)
株主資本利益率(ROE)	29.8 (%)
株式ベータ	0.85 (対S&P500)

通期業績								
決算期	売上高 (百万台湾ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万台湾ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万台湾ドル)	前同比 (%)	1株利益 (台湾ドル)	配当 (台湾ドル)
2019/12	1,069,985	4	372,701	-3	345,264	-2	66.58	47.50
2020/12	1,339,255	25	566,784	52	517,885	50	99.86	50.00

四半期業績								
決算期	売上高	前同比	営業利益	前同比	当期利益	前同比	1株利益	配当
2019/Q4	317,237	—	124,244	—	116,035	—	22.37	12.50
2020/Q4	361,533	14	157,084	26	142,766	23	27.53	12.50

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

インテルやエヌビディアのライバル半導体メーカー。市場シェア獲得に期待

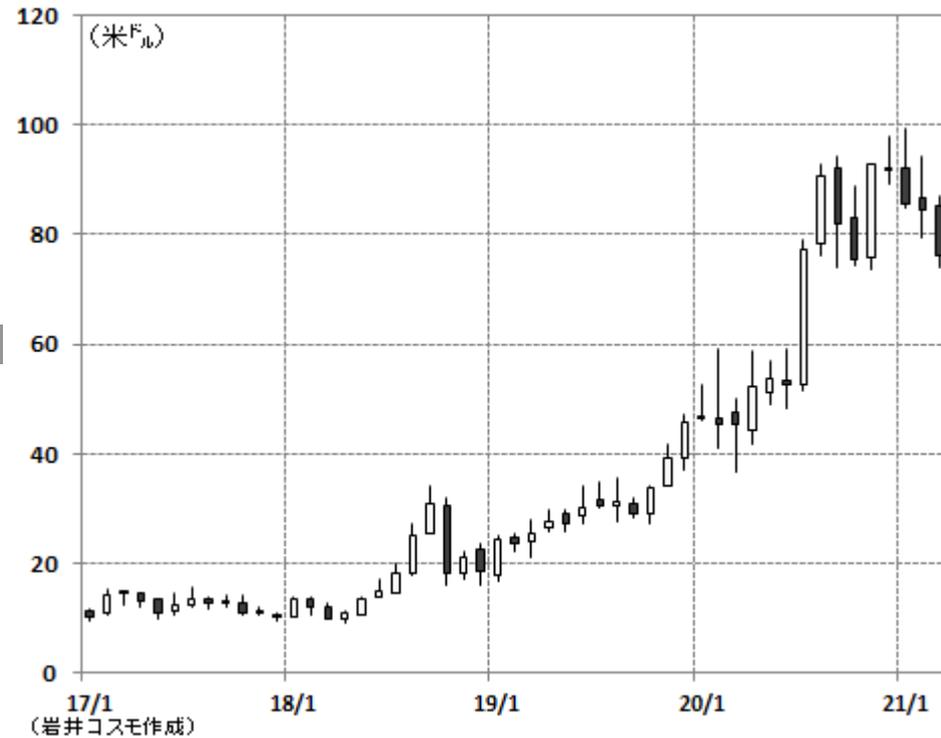
会社概要

1969年設立の老舗半導体メカ。現在は演算処理(CPU)・画像処理用半導体(GPU)、チップセットの開発・販売専門企業。2006年にGPU大手のATI社を買収、2011年に画像処理機能統合型半導体APUを市場投入。APUは最新「Xbox シリーズX/S」、「プレイステーション5」等に採用され、据置型ゲーム機市場で存在感。部門別売上構成比(20年度)はCPU・GPUが66%、APU等の組込み半導体が34%。

注目ポイント

□ **インテルやエヌビディアに大きく劣後も巻き返し目指す**: AMDはインテルのCPUやエヌビディアのGPUに対抗製品を提供できる稀有な半導体企業。ただPCやサーバ向けCPUがインテルが圧倒的シェア。GPUの分野でもエヌビディアに後塵を拝している。ただ近年は優秀な半導体設計者を他社から引き戻し、半導体の性能に大きな影響を与える微細化でインテルに先行、巨人インテルの牙城の切り崩しにかかる。

□ **ザイリンクス買収を発表**: 20年10月27日にザイリンクスを350億ドルで買収すると発表。全額株式交換で、ザイリンクス株1株につき、AMD株1.7234株を割り当てる。2021年末までの買収完了を見込む。



株価チャート (2017年以降・月足)

株価データ

株価(米ドル)	76 (03/30)
52週高値(日付)	99.22 (21/01/11)
52週安値(日付)	41.7 (20/04/03)
時価総額	921億ドル 10兆1,638億円
株価変化率(%)	-7.3 (過去6ヶ月間) 58.8 (過去1年間)

株価指標(バリュエーション)

実績PER	74.3 (倍)
株価売上高比率	9.2 (倍)
PBR	15.8 (倍)
税前提当利回り(%)	無配 (直近年率)
配当成長率(%)	— (過去1年間)
株主資本利益率(ROE)	57.5 (%)
株式ベータ	1.18 (対S&P500)

通期業績

決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2019/12	6,731	4	631	40	341	1	0.30	0.00
2020/12	9,763	45	1,369	117	2,490	630	2.06	0.00

四半期業績

2019/Q4	2,127	—	348	—	170	—	0.15	0.00
2020/Q4	3,244	53	570	64	1,781	948	1.45	0.00

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

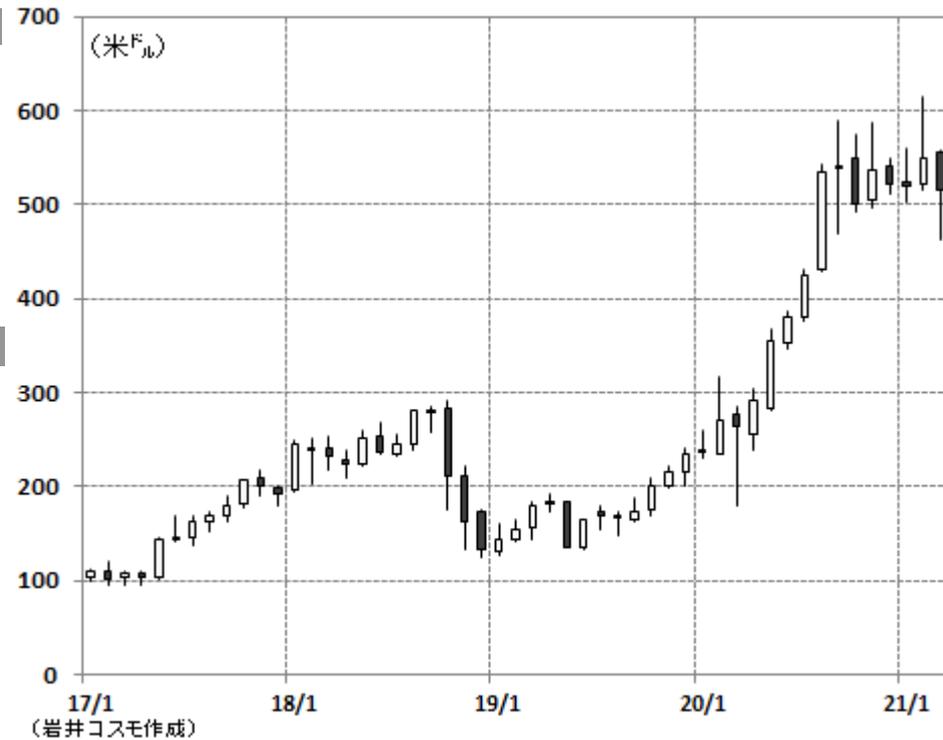
「人工知能(AI)」、「自動運転」の新市場に半導体を供給

会社概要

1993年設立の米国の半導体メーカ。コンピュータのグラフィックス処理や演算処理の高速化を主な目的とするGPU(画像処理半導体)を設計・開発する。自社で製造を行わないファブレスメーカで台湾セミコンダクターや韓国サムスン電子に製造を委託。用途別売上構成はゲーム市場向けが47%、視覚化技術に関するプロ向けが6%、AIを含むデータセンター向けが40%、自動車向けが3%、OEM&IPが4%(21年1月期)。

注目ポイント

- 「AI」の計算処理に同社GPUが活躍: IBMやアマゾン、マイクロソフト、アルファベットなどのIT大手各社は「深層学習(自ら学ぶ)」といった新技術を用いた人工知能の計算処理に同社半導体を利用している。
- 四半期売上高50億ドル突破: 20年11月-21年1月期業績は、売上高は前年同期比61%増の50億ドルとなり、四半期ベースで過去最高を記録、部門別ではゲーム部門が最新グラフィックスカードが人気を集め67%増の25億ドルを売上げ、けん引した。一方会社側は、供給を増やしても2-4月期は在庫が低水準にとどまる可能性が高いとし、ファクトリーの供給制約の影響を受けるおそれがあるとした。



株価チャート (2017年以降・月足)

株価データ

株価(米ドル)	514.87 (03/30)
52週高値(日付)	614.89 (21/02/16)
52週安値(日付)	238.44 (20/04/03)
時価総額	3,192億ドル 35兆2,291億円
株価変化率(%)	-4.9 (過去6ヶ月間) 93.9 (過去1年間)

株価指標(バリュエーション)

実績PER	63.8 (倍)
株価売上高比率	19.1 (倍)
PBR	18.9 (倍)
税前提当利回り(%)	0.12 (直近年率)
配当成長率(%)	0.0 (過去1年間)
株主資本利益率(ROE)	29.8 (%)
株式ベータ	1.13 (対S&P500)

通期業績

決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2020/01	10,918	-7	2,846	-25	2,796	-32	4.52	0.64
2021/01	16,675	53	4,532	59	4,332	55	6.90	0.64

四半期業績

決算期	売上高	前同比	営業利益	前同比	当期利益	前同比	1株利益	配当
2020/Q4	3,105	—	990	—	950	—	1.53	0.16
2021/Q4	5,003	61	1,507	52	1,457	53	2.31	0.16

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

オンライン決済サービス大手。安心、簡単、受渡し保証などを武器に勢力拡大中

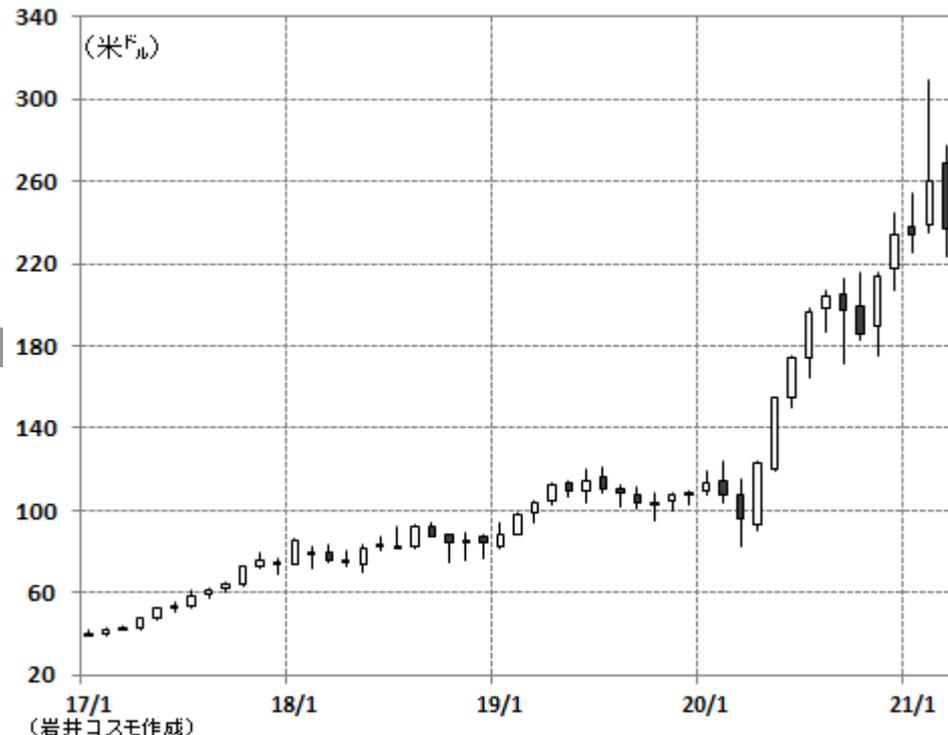
会社概要

98年創業の米オンライン決済サービス大手。02年にイーベイにより買収され、15年7月に分離・独立した。事前登録したクレジットカードや銀行口座を用いてネットで代金決済するサービス等を展開、決済の堅固な安全性や利便性の高さが特徴。20年の取引処理件数は前年比25%増の154億件。世界の100以上の通貨の支払いに対応。地域別売上構成は米国が51%、英国が11%、その他が38%(20年実績)。

注目ポイント

□**野心的目標を設定**：2月11日に投資家向け説明会を開催し、2025年までの長期目標を提示。稼動アカウント数を7.5億口座(年平均成長率+15%)、決済取扱高を2.8兆ドル(同+25%)、売上高を500億ドル(同+20%)とした。稼動アカウント数は20年末時点の3.77億口座から倍増する計画で、22年以降に加速するとした。

□**仮想通貨事業に参入**：20年10月に暗号資産(仮想通貨)による支払いサービスを始めると発表。21年に入り、ペイパルのアカウント上でビットコインなど4種類の仮想通貨の取扱いを開始。3月30日には仮想通貨を保有する米国の利用者が数百万のオンライン事業者とのペイパル上の決済時に仮想通貨での支払いを選択できるようになった。



株価チャート (2017年以降・月足)

株価データ	
株価(米ドル)	236.54 (03/30)
52週高値(日付)	309.12 (21/02/16)
52週安値(日付)	89.9 (20/04/03)
時価総額	2,770億ドル 30兆5,730億円
株価変化率(%)	20.1 (過去6ヶ月間) 143.8 (過去1年間)

株価指標(バリュエーション)	
実績PER	95.9 (倍)
株価売上高比率	12.9 (倍)
PBR	13.8 (倍)
税前提当利回り(%)	無配 (直近年率)
配当成長率(%)	— (過去1年間)
株主資本利益率(ROE)	22.8 (%)
株式ベータ	1.08 (対S&P500)

通期業績								
決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2019/12	17,772	15	2,719	24	2,459	20	2.07	0.00
2020/12	21,454	21	3,289	21	4,202	71	3.54	0.00

四半期業績								
決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2019/Q4	4,961	—	799	—	507	—	0.43	0.00
2020/Q4	6,116	23	963	21	1,567	209	1.32	0.00

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

決済サービスを中心に幅広くフィンテック事業を手がける新興系企業

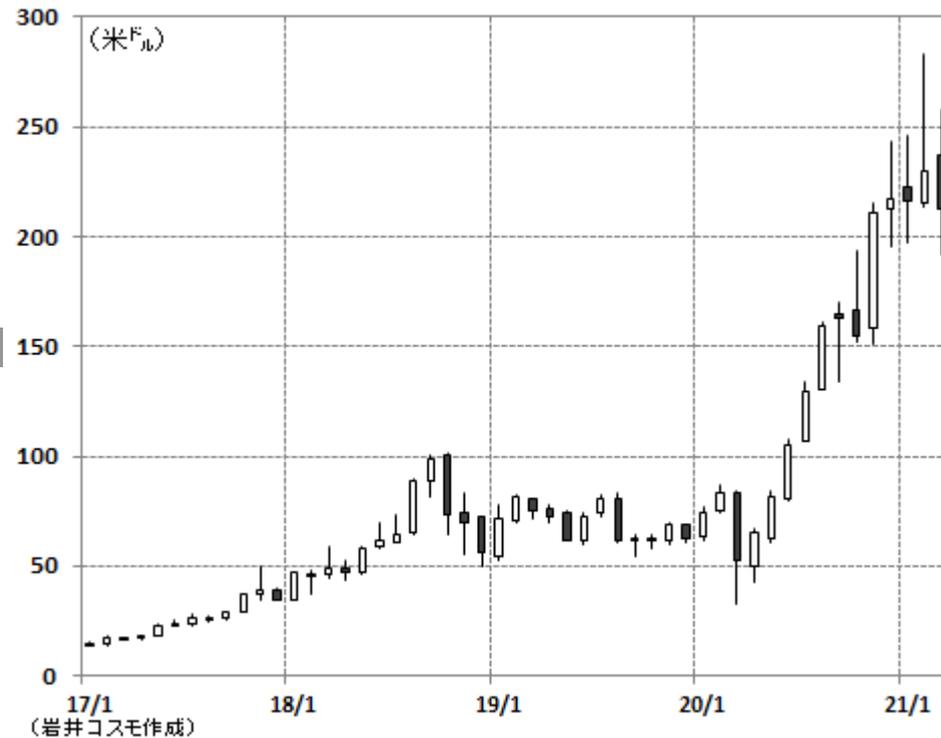
会社概要

中小零細企業向けのクレジットカード読み取り機器のパイオニアとして2009年に創業したフィンテックベンチャー。クレジットカード業界の加盟店契約業者の1社に位置付けられるが、従来型の同業他社と比べ簡単に導入しやすく、入金処理が早いなどの特長から中小企業向けのカード決済サービスの需要を急速に取り込むことに成功した。近年では金融総合アプリ「キャッシュアップ」の成長が業績を牽引する。

注目ポイント

□ **オンライン戦略を加速**：コロナ禍で同社が得意とする実店舗での決済サービスが制限される中、オンライン戦略を加速させる。同社の「スクエア・オンラインストア」を利用すれば、売り手が実店舗で取り扱っている商品をスムーズにネット通販に移行できる。

□ **音楽配信企業を買収**：スクエアは著名ラッパーのジェイ-Z氏が率いる音楽配信企業タイダルを傘下に収めると3月4日に発表。タイダルは2014年にサービスを始め、現在は56の国と地域で音楽や動画の配信を手掛ける。現金と株式交換で発行済み株式の過半を取得し、買収金額は2.97億ドルとなる見通し。



株価チャート (2017年以降・月足)

株価データ	
株価(米ドル)	212.83 (03/30)
52週高値(日付)	283.12 (21/02/16)
52週安値(日付)	42.37 (20/04/03)
時価総額	968億ドル 10兆6,780億円
株価変化率(%)	30.9 (過去6ヶ月間) 287.0 (過去1年間)

株価指標(バリュエーション)	
実績PER	— (倍)
株価売上高比率	10.0 (倍)
PBR	36.2 (倍)
税前提当利回り(%)	無配 (直近年率)
配当成長率(%)	— (過去1年間)
株主資本利益率(ROE)	9.7 (%)
株式ベータ	1.77 (対S&P500)

通期業績

決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2019/12	4,714	43	27	黒転	375	黒転	0.81	0.00
2020/12	9,498	101	-19	赤転	213	-43	0.44	0.00

四半期業績

決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2019/Q4	1,313	—	17	—	391	—	0.83	0.00
2020/Q4	3,159	141	45	160	294	-25	0.59	0.00

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

米自動車大手。EV(電気)と自動運転シフトで新事業モデルを模索

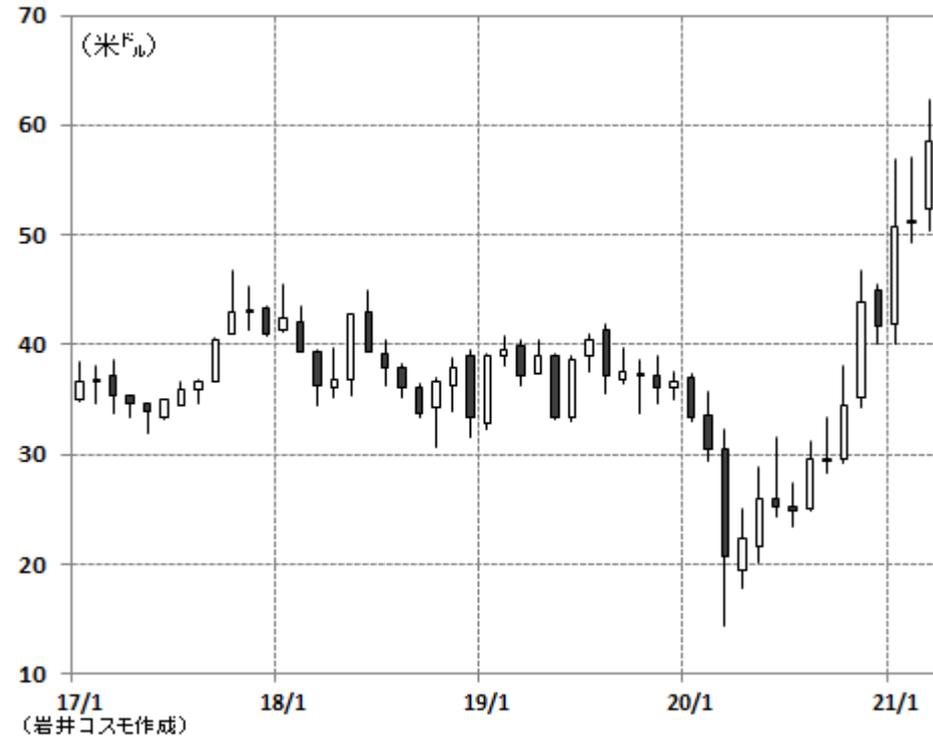
会社概要

アメリカを代表する大手自動車メーカ。「シボレー」、「キャデラック」などの乗用車、トラックを生産する。09年の経営破綻後、米政府資本の新会社に優良資産を移管。新生GMとして10年に再上場を果たす(13年に政府管理から脱却)。17年に独オヘル事業など欧州事業を仏PSAグループに売却。近年は電気自動車(EV)と自動運転車に経営資源を集中させ、大規模な構造改革を実行中。

注目ポイント

□**マイクロソフトと自動運転で提携**：同社は1月19日、自動運転技術でマイクロソフトと提携すると発表。自動輸送システムの開発にマイクロソフトのクラウド技術を活用する。マイクロソフトは同社やホンダなど既存の株主と共同で、同社の自動運転子会社「クルーズ」に総額20億ドル超を出資する予定。

□**EVシフトを鮮明に**：同社のメアリー・バークCEOはデジタル見本市「CES」で講演し、「商用車を含む全車種を電動車両に切り替える」と宣言。商用EVを21年末までに発売する計画も発表した。同社は20年11月に新たな経営計画を策定し、25年末までにグローバルで30車種のEVを投入する計画を発表しており、EVシフトを加速させている。



株価チャート (2017年以降・月足)

株価データ	
株価(米ドル)	58.51 (03/30)
52週高値(日付)	62.23 (21/03/18)
52週安値(日付)	17.8 (20/04/02)
時価総額	843億ドル 9兆3,042億円
株価変化率(%)	97.7 (過去6ヶ月間) 174.4 (過去1年間)

株価指標(バリュエーション)	
実績PER	11.9 (倍)
株価売上高比率	0.7 (倍)
PBR	1.8 (倍)
税前提当利回り(%)	無配 (直近年率)
配当成長率(%)	-75.0 (過去1年間)
株主資本利益率(ROE)	14.4 (%)
株式ベータ	1.47 (対S&P500)

通期業績								
決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2019/12	137,237	-7	5,481	23	6,581	-17	4.57	1.52
2020/12	122,485	-11	6,634	21	6,247	-5	4.33	0.38
四半期業績								
2019/Q4	30,826	—	336	—	-194	—	-0.16	0.38
2020/Q4	37,518	22	3,674	11倍	2,846	黒転	1.93	0.00

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

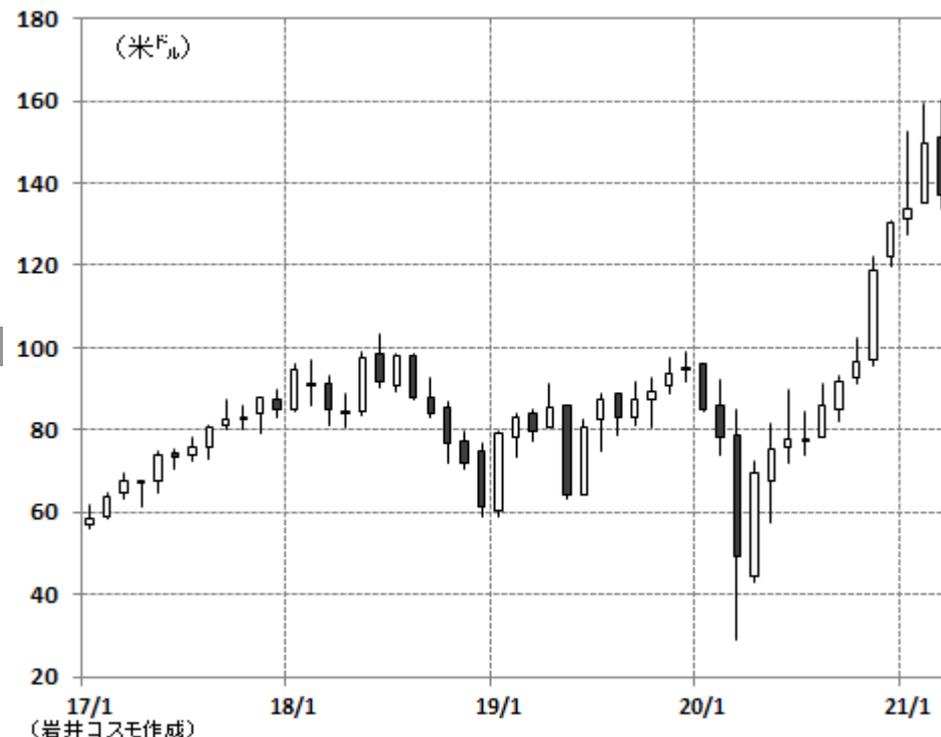
会社概要

自動車部品メカ。1994年にゼネラル・モーターズ(GM)内に設立された自動車部品グループを母体とする。1995年にデルファイ・オートモーティブ・システムズに社名変更し、1999年に完全な公開会社として分社化された。2005年に経営破綻し、GMのもとで経営立て直しが進められ、2009年に新生デルファイが設立。2017年にパワートレイン部品事業をスピンオフし、現在の社名「アプティブ」となった。

注目ポイント

□ **自動車の電動化対応で事業構造を大きく転換**：近年は、エアコン部門や駆動装置部門を次々とスピンオフし、ソフトウェア投資を積極化。自動車の電動化や自動運転化により、自動車部品の利用品目は急減することが見込まれ、従来型のハード事業から、ソフト事業へ大きく舵を切る。

□ **自動運転に注力**：アプティブは配車サービスのリフトと組み、ロボットタクシーの実証実験にも注力している。米ラスベガスでは、リフトのアプリを通じて同社のロボットタクシーの配車が可能となっており、2018年5月に実証実験を開始して以来、2020年2月には有料配車回数が10万回の大台に到達した。



株価チャート (2017年以降・月足)

株価データ	
株価(米ドル)	137.29 (03/30)
52週高値(日付)	160.14 (21/03/03)
52週安値(日付)	43.05 (20/04/03)
時価総額	371億 ^{ドル} 4兆0,979億円
株価変化率(%)	49.7 (過去6ヶ月間) 175.0 (過去1年間)

株価指標(バリュエーション)	
実績PER	68.1 (倍)
株価売上高比率	2.8 (倍)
PBR	4.7 (倍)
税前提当利回り(%)	無配 (直近年率)
配当成長率(%)	-66.7 (過去1年間)
株主資本利益率(ROE)	30.2 (%)
株式ベータ	1.59 (対S&P500)

通期業績								
決算期	売上高 (百万 ^{ドル})	前同比 (%)	営業利益 (百万 ^{ドル})	前同比 (%)	当期利益 (百万 ^{ドル})	前同比 (%)	1株利益 (^{ドル})	配当 (^{ドル})
2019/12	14,357	-1	1,276	-13	990	-7	3.85	0.88
2020/12	13,066	-9	2,118	66	1,804	82	6.66	0.22
四半期業績								
2019/Q4	3,596	—	324	—	230	—	0.90	0.22
2020/Q4	4,212	17	446	38	299	30	1.04	0.00

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

テスラのライバルと目される中国の高級電気自動車(EV)メーカー

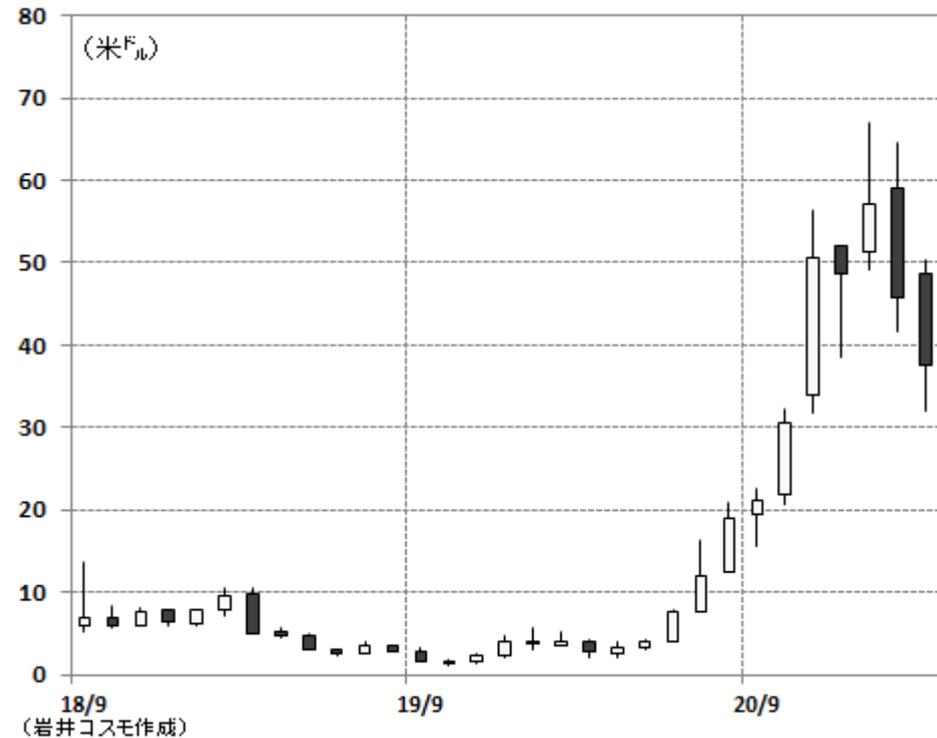
会社概要

「中国のテスラ」と呼ばれる高級電気自動車(EV)メーカー。漢字の社名は「蔚来(ウェイライ)汽車」、ウェイライは青い空が来るという意味。高価格帯の高級EVを製造・販売、高速・高性能が特長。「フォーミュラE(EVのレーシング世界大会)」の運営チームを広告塔として活用。2014年に設立され、2018年にニューヨーク市場に上場。本社は中国上海市。中国全国の121都市で226販売拠点を展開(20年12月末時点)。

注目ポイント

□ **大株主、サプライヤー**：創業者李斌氏は車の広告やシェア自転車事業等で財を成した起業家。李氏と中国IT大手のテンセントが大株主。有力サプライヤーには車載電池の世界最大手の中国CATLなど。海外事業部の設立準備中で、欧州市場に参入する計画がある。

□ **販売車種の拡大、2022年に初セダン投入**：富裕層をターゲットとして中型SUV「ES6」中心に高級SUV3車種を現在販売中だが、2022年初めには同社初のセダン「ET7」を発売予定。「ET7」にはエヌビディアの自動運転技術やクアルコム自動車向け半導体が搭載される。中国ではEV購入補助金が中国で徐々に減る方針だが、ニーオの車種は当初から補助金対象外であり、政策リスクが少ないとみられる。



株価チャート(上場来・月足)

株価データ	
株価(米ドル)	37.55 (03/30)
52週高値(日付)	66.98 (21/01/11)
52週安値(日付)	2.22 (20/04/02)
時価総額	591億ドル 6兆5,179億円
株価変化率(%)	77.0 (過去6ヶ月間) 1,285.6 (過去1年間)

株価指標(バリュエーション)	
実績PER	— (倍)
株価売上高比率	18.6 (倍)
PBR	11.7 (倍)
税前配当利回り(%)	無配 (直近年率)
配当成長率(%)	— (過去1年間)
株主資本利益率(ROE)	— (%)
株式ベータ	1.64 (対S&P500)

通期業績								
決算期	売上高 (百万元)	前同比 (%)	営業利益 (百万元)	前同比 (%)	当期利益 (百万元)	前同比 (%)	1ADR利益 (元)	配当 (元)
2019/12	7,825	58	-11,079	赤継	-11,413	赤継	-11.08	0.00
2020/12	16,258	108	-4,608	赤継	-5,611	赤継	-4.74	0.00

四半期業績								
決算期	売上高 (百万元)	前同比 (%)	営業利益 (百万元)	前同比 (%)	当期利益 (百万元)	前同比 (%)	1ADR利益 (元)	配当 (元)
2019/Q4	2,848	—	-2,826	—	-2,894	—	-2.81	0.00
2020/Q4	6,641	133	-931	赤継	-1,492	赤継	-1.05	0.00

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

風力などの環境配慮型の発電に特化する電力会社

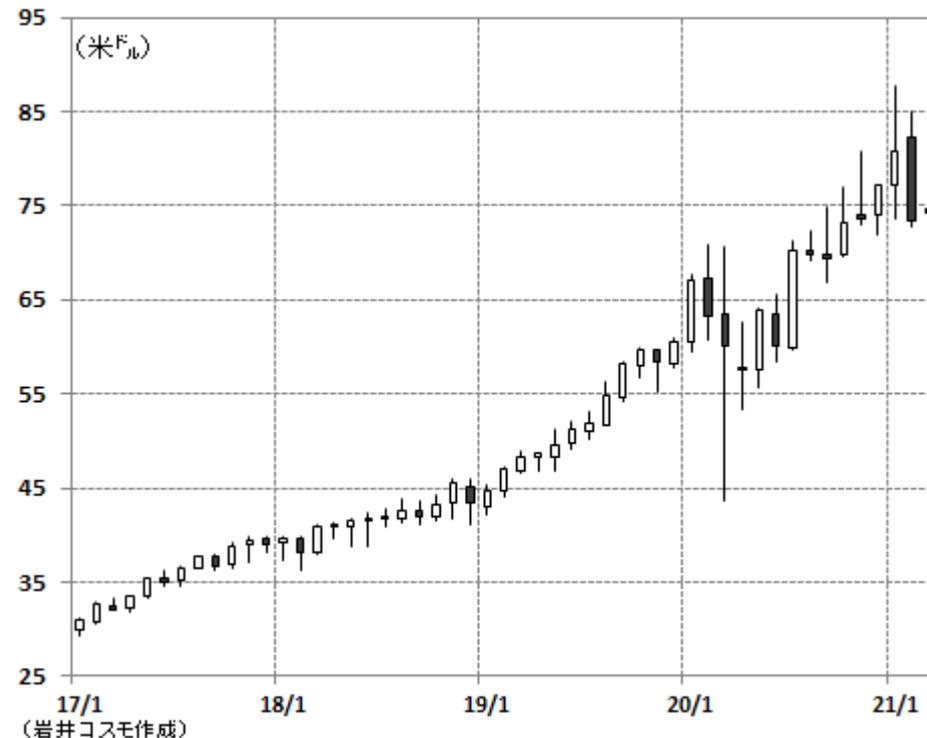
会社概要

再生可能エネルギー等の発電・販売を手掛ける持株会社。風力、太陽光、液化天然ガスによる環境負荷の小さい発電所を中心に運営し、子会社を通じて複数の原子力発電所も保有する。持株会社は主に、フロリダパワー&ライト(FPL)とネクステラ・エナジー・リソース(NEER)から構成される。持株会社のルーツであるFPLは1925年創業、1950年にNY市場に上場。2010年に持株会社「ネクステラ・エナジー」を設立。

注目ポイント

□**環境配慮型発電に特化**：売上高のおよそ3割を占めるNEERはより環境配慮型の発電に注力している。NEERの発電量の67%が風力発電、13%が太陽光発電と全発電量の5分の4が再生可能エネルギーに占められている。風力や太陽光発電の発電コストは年々低下してきており、経済合理性の観点からも注目を集めている。

□**ESG投資でも注目**：近年、環境配慮や企業統治の優れた企業に投資する「ESG投資」が活発化しており、これらの対応が重要視される。同社はS&PのESG評価でも、セクター最高の評価を受けるなど、機関投資家の評価も高く、今後も環境に配慮した取組みを続ける。



株価チャート (2017年以降・月足)

株価データ	
株価(米ドル)	74.22 (03/30)
52週高値(日付)	87.69 (21/01/25)
52週安値(日付)	53.3 (20/04/01)
時価総額	1,455億ドル 16兆0,532億円
株価変化率(%)	7.0 (過去6ヶ月間) 20.7 (過去1年間)

株価指標(バリュエーション)	
実績PER	32.7 (倍)
株価売上高比率	8.1 (倍)
PBR	4.0 (倍)
税前配当利回り(%)	2.07 (直近年率)
配当成長率(%)	11.5 (過去1年間)
株主資本利益率(ROE)	7.9 (%)
株式ベータ	0.98 (対S&P500)

通期業績

決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2019/12	19,204	—	5,353	—	3,769	—	1.94	1.25
2020/12	17,997	-6	5,116	-4	2,919	-23	1.48	1.40

四半期業績

決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2019/Q4	4,588	—	878	—	975	—	0.50	0.3125
2020/Q4	4,395	-4	941	7	-5	赤転	0.00	0.3500

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

株式投資に関するご留意事項

◆手数料等について

■国内株式

- ・国内株式の売買には、約定代金に対して最大1.265%（税込）の委託手数料が必要となります。
※委託手数料が2,750円に満たない場合は2,750円

■外国株式

- ・国内取次手数料

約定代金が5.0万円以下の場合	約定代金の16.5%（税込）
約定代金が5.0万円超50万円以下の場合	8,250円（税込）
約定代金が50万円超の場合	最大で約定代金の1.1% + 2,750円（税込）

- ・現地諸費用：外国取引にかかる現地諸費用の額は、その時々々の市場状況、現地情勢等に応じて決定されますので、本書上でその金額等をあらかじめ記載することはできません。
- ・「外国証券取引口座」を開設されていない場合は、口座開設が必要となります。

■新規公開株式

- ・新規公開株式を購入される場合は、購入対価のみをお支払いいただきます。

◆主なリスクについて

株価変動リスク	政治・経済、社会情勢等の変化により、株式相場等が変動し損失を被るおそれがあります。
新規公開株式にかかるリスク	新規公開株式は、国内外の事業会社が発行する株式であり、金融商品取引所への上場後は、株式相場の変動や当該事業会社等の信用状況に対応して価格が変動すること等により、損失が生じるおそれがあります。
信用リスク	有価証券等の発行者の信用・財務状況などの変化等により、価格等が下落したり、投資元本を回収できなくなったりすることで、損失を被るおそれがあります。
流動性リスク	流動性の悪化または流通市場の混乱により、損失を被るおそれがあります。
為替変動リスク	外国為替相場の変動等により、受取金額が増減し損失を被るおそれがあります。

※信用取引を行う場合は、委託保証金を担保として差し入れていただきます。委託保証金は、売買代金の30%以上で、かつ100万円以上が必要です。
また、信用取引を行う場合は、対象となる株式等または指標等の価格変動により損失の額がお客様の差し入れた委託保証金の額を上回るおそれ（元本超過損リスク）があります。

当社が取扱う商品等は、上記リスク等により損失が生じるおそれがあります。商品ごとに手数料等およびリスクは異なりますので、当該商品の契約締結前交付書面、目論見書、お客様向け資料等をお読みください。

本資料の情報の一部は、岩井コスモ証券株式会社より取得しております。